

# 1章 大牟田市新水道ビジョン策定の意義

## 1-1 新水道ビジョン策定の背景と目的

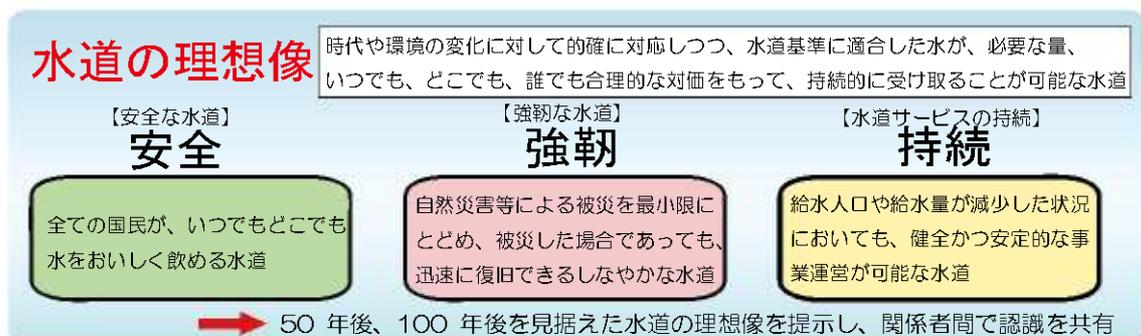
本市の水道事業においては、2008（平成 20）年度に「大牟田市地域水道ビジョン 生命の水・プラン 21」を策定し、各種事業に取り組んできました。「大牟田市地域水道ビジョン」では、「大切な生命の水を未来まで」を将来像として掲げ、「安全な水」「市民の水」「やさしい水」の三つの視点から、老朽化施設の改築更新等に取り組むとともに、荒尾市との共同施設である、ありあけ浄水場の整備・運営や、長年の課題であった水道一元化の完全実施を実現しました。また、一方では事務事業の効率化や料金体系の見直し等も行ってきました。

この間、本格的な人口減少・少子高齢化社会の到来や東日本大震災の経験等、水道事業を取り巻く状況の変化を受け、国においては、その対応を図るため、2013（平成 25）年 3 月、「新水道ビジョン」を策定しました。

本市水道事業においても、これらの背景の下、節水意識の高まりもあいまって給水収益は今後益々減少することが見込まれるとともに、将来の持続的な事業運営に必要な施設の老朽化対策のための投資費用の増加や、職員数の減少、技術の継承、人材育成等、水道事業を取り巻く環境が、年々厳しさを増している状況となっています。

しかしながら「水道」は、生活に欠かすことができないライフラインであり、安全で良質な水道水を安定的に供給する必要があります。また、市民のニーズに応じた質の高い水道サービスを提供していくためには、水道事業を取り巻く様々な課題に対応し、将来にわたり持続可能な運営基盤の強化を図る取り組みが必要となっています。

以上のことより、大牟田市新水道ビジョン（以下、「本水道ビジョン」という）では、国が示した『安全』『強靱』『持続』の三つの観点から、将来の水道の理想像とそれに向けた具体的な実現方策を明らかにします。



出典：厚生労働省 新水道ビジョン 2013（平成 25）年 3 月

## 1-2 大牟田市まちづくり総合プランにおける水道事業の位置付け

本市の「大牟田市まちづくり総合プラン」(以下、「まちづくり総合プラン」という。)は、計画期間を2016(平成28)年度から2019(平成31)年度までの4年間とし、教育、産業、福祉、生活環境などまちづくりに必要なあらゆる分野を対象とした総合的かつ計画的な市政運営を図るためのまちづくりの指針として、大牟田市総合計画条例に基づき策定されたものです。

まちづくり総合プランは、長期的な展望に基づき、目指す都市像として「人が育ち、人にぎわい、人を大切にする ほっとシティおおむた」を掲げ、その目指す都市像を実現するための施策の基本的方向及び体系を示すものであり、本市の個別計画の基本となるものです。

水道事業については、基本方針、施策推進の視点を以下のとおり定めています。

### 【基本方針】

市民がいつでも、どんなときでも安心して良質な水を飲むことができるまちを目指します。

そのために水道水の安全確保「安全」、確実な給水確保「強靱」、供給体制の持続性確保「持続」の観点から、水道事業の安定運営を目指します。また、水道水への信頼を高め、水道事業への理解を深めてもらうため、情報の共有を進めます。

### 【施策推進の視点】

#### <視点1>安全で確実な水の供給

徹底した水質管理を行い、安全で良質な水道水を供給します。

また、将来の水需要を適切に見込んだ水道施設の整備や、老朽化した水道施設の計画的な改築更新及び維持管理を行うとともに、水道一元化による給水装置の付け替えを計画的に進め、確実な水の供給に努めます。

#### <視点2>持続的な水の供給

将来にわたって、持続可能な事業運営を行うため、経営基盤の強化に取り組みます。

また、将来における水道のビジョンを明確化するとともに、水道事業について市民理解が得られるよう、情報を発信し、共有化を図ります。

### 1-3 計画期間及び新水道ビジョンの位置付け

本水道ビジョンは「まちづくり総合プラン」を上位計画とし、計画期間を2016（平成28）年度を初年度とする10年間の計画です。なお、本水道ビジョンでは50年、100年先を見据えた基本理念と理想像を示すとともに、できる限り長期的な視点に立ち、30年先までの水需要や施設の更新需要に関する見通しを推計します。

計画の推進にあたっては、社会経済情勢の変化や国や県、近隣市町の動向により、柔軟に見直すこととします。



図-1.3.1 大牟田市新水道ビジョンの計画期間

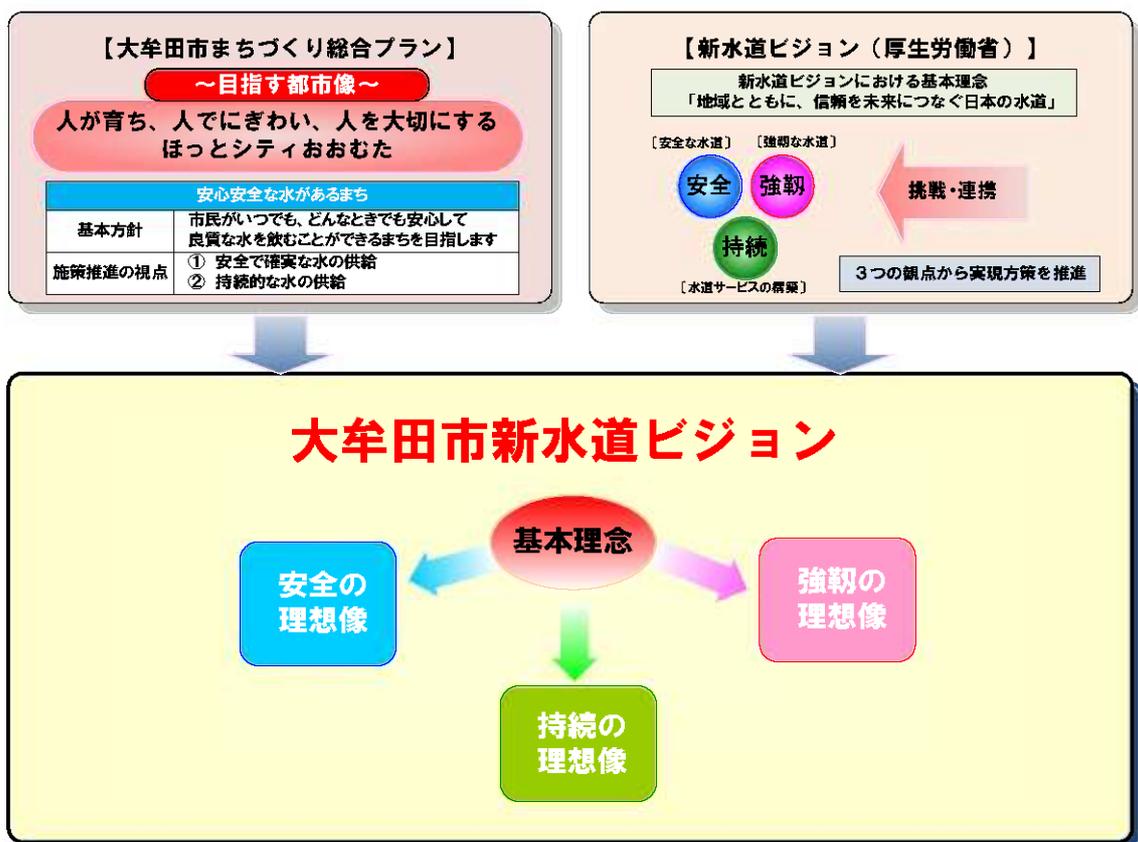


図-1.3.2 大牟田市新水道ビジョンの位置付け

## <大牟田市新水道ビジョンの補足説明>

### 1) 現行ビジョン取り組み状況及び課題の表記について

本水道ビジョンの3章、4章、8章において、2008（平成20）年6月に策定した現行ビジョンの取り組み状況の他、現状の課題、将来の課題、アンケート分析結果から見える課題、経営の改革にあたっての課題について以下の着色枠によって内容を表記しています。

なお、3章、4章の課題については、通し番号により整理しています。

#### ●3章、4章にて記載

##### <現行ビジョンの取り組み状況>

主要施策：	2008（平成20）年に策定しました現行ビジョンにおいて掲げた施策の取り組み状況について整理します。
施策概要：	
実施状況：	

#### ●3章にて記載

##### <現状の課題>

◇ No.1～29 現在、大牟田市水道事業が抱えている課題を整理します。

#### ●3章の「3-14 水道利用者アンケート」にて記載

##### <アンケート分析結果から見える課題>

◇ No.30～34 今回実施した水道利用者アンケートの分析結果から見える課題を整理します。

#### ●4章にて記載

##### <将来の課題>

◇ No.35～47 将来を見据えた上での課題を整理します。

#### ●8章にて記載

##### <経営の改革にあたっての課題>

◇ 戦略的な経営の改革にあたっての課題を整理します。

## 2) 水道事業に関する指標値の比較について

本水道ビジョンでは、水道事業の現状を把握するために、定量的に数値化して評価が可能な業務指標や経営指標を整理しています。これらの大牟田市の指標値の比較対象として、総務省が公表する経営指標の類型区分を基準に、全国類似団体平均値を採用しています。

### <全国類似団体平均値の抽出対象>

(大牟田市と類似する団体) 岐阜県多治見市、大阪府富田林市、沖縄県沖縄市等

#### 【類型区分】B3

- 給水人口別区分・・・10万人以上15万人未満
- 水源別区分・・・受水を主とするもの
- 有収水量密度別区分・・・全国平均以上のもの